

「学校における生物生息空間（ビオトープ）に係る調査」結果

調査の概要

1 調査の目的

小中学校における「千葉県ビオトープ推進マニュアル」の普及状況やビオトープの整備の状況を把握することにより、今後のビオトープ整備等を促進するための基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査対象

県内小中学校

小学校 871校

中学校 407校

3 調査期間

平成18年10月2日～10月31日

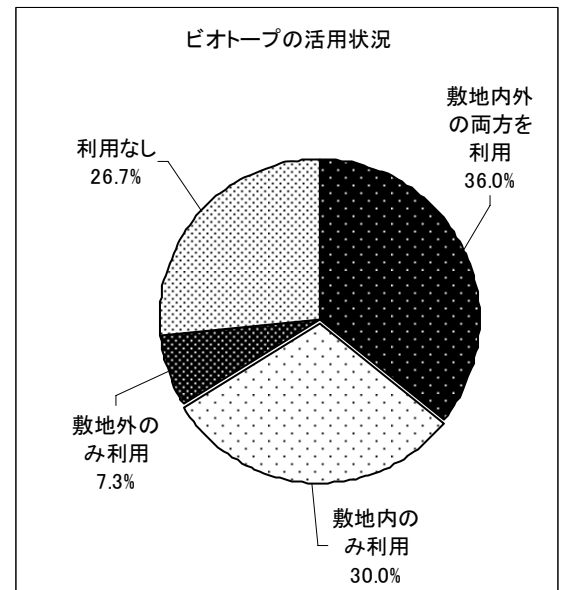
4 回収結果

区分	対象数	回収数	回収率
小学校	871	574	65.9%
中学校	407	205	50.4%
合計	1,278	779	61.0%

調査結果

1 学校におけるビオトープの活用について (n=779)

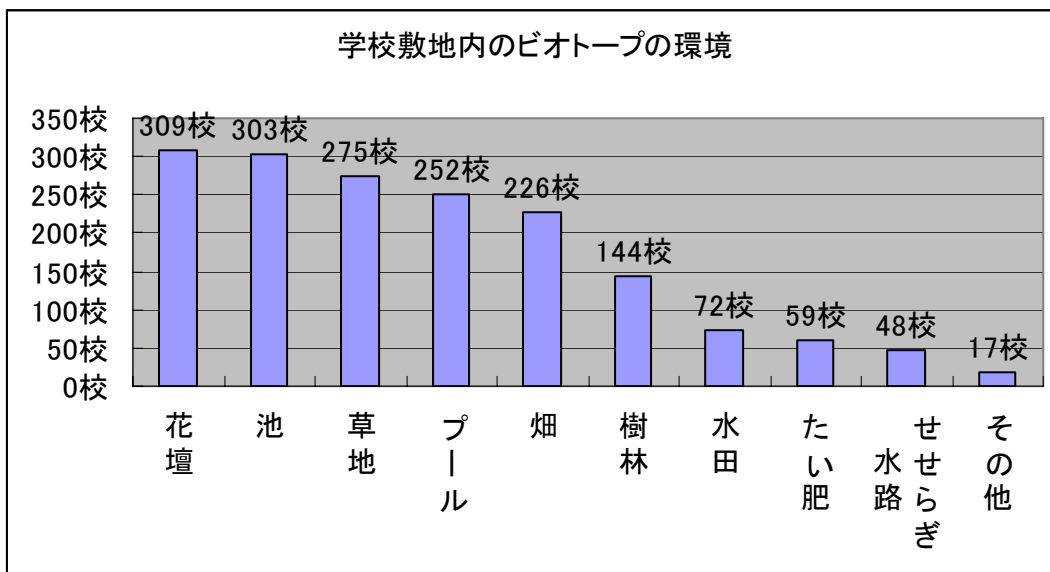
区分	学校数	%
学校敷地内・外の両方を利用	280	36.0
学校敷地内のみを利用	234	30.0
学校敷地外のみを利用	57	7.3
利用していない	208	26.7



2 学校の敷地内のビオトープの活用等について

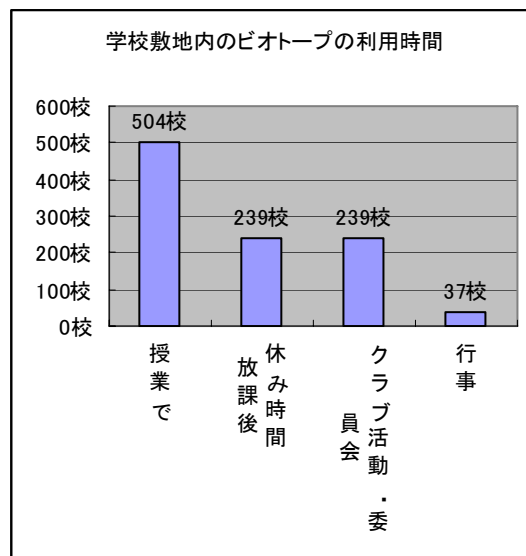
(1) 学校の敷地内におけるビオトープの環境 (複数回答 n=514)

区分	花壇	池	草地	プール	畑	樹林	水田	たい肥	せせらぎ、水路	その他
学校数	309	303	275	252	226	144	72	59	48	17
%	60.1	58.9	53.5	49.0	44.0	28.0	14.0	11.5	9.3	3.3



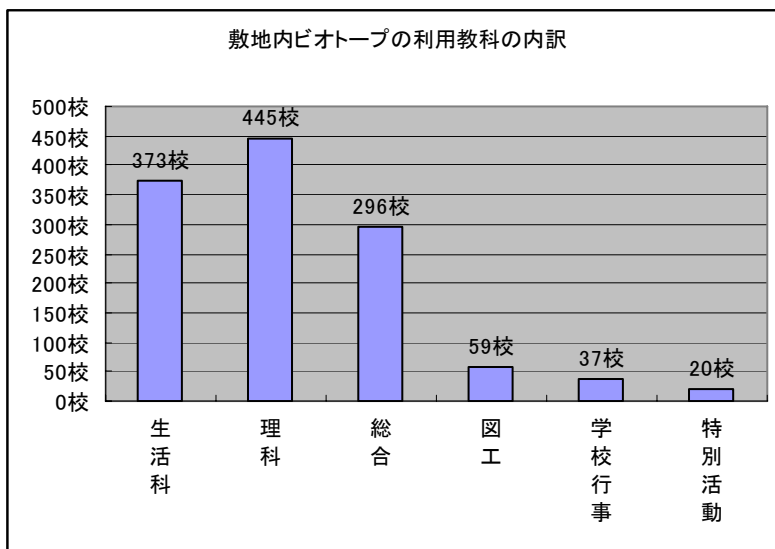
(2) 学校の敷地内のビオトープの利用時間（複数回答 n=514）

区分	学校数	%
授業	504	98.1
休み時間、放課後	239	46.5
クラブ活動、委員会	239	46.5
行事	37	7.2



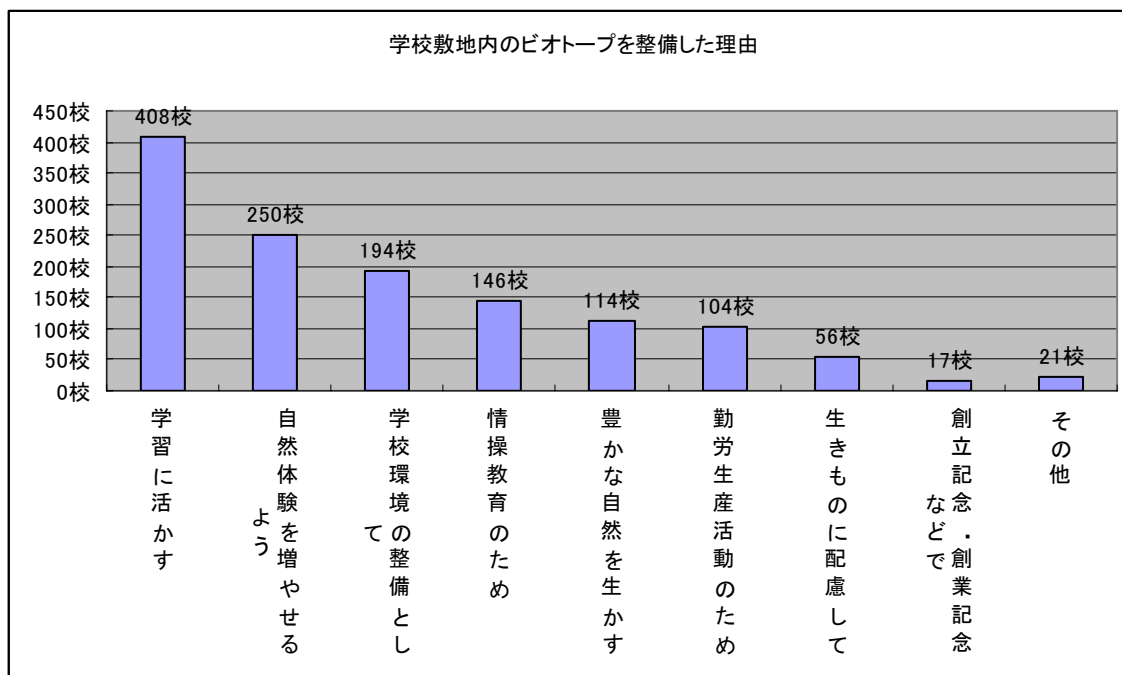
(3) 学校の敷地内のビオトープの利用教科の内訳（複数回答 n=504）

区分	学校数	%
生活科	373	74.0
理科	362	88.3
総合学習	277	58.7
図工	56	11.7
特別活動	33	7.3
社会	20	4.0



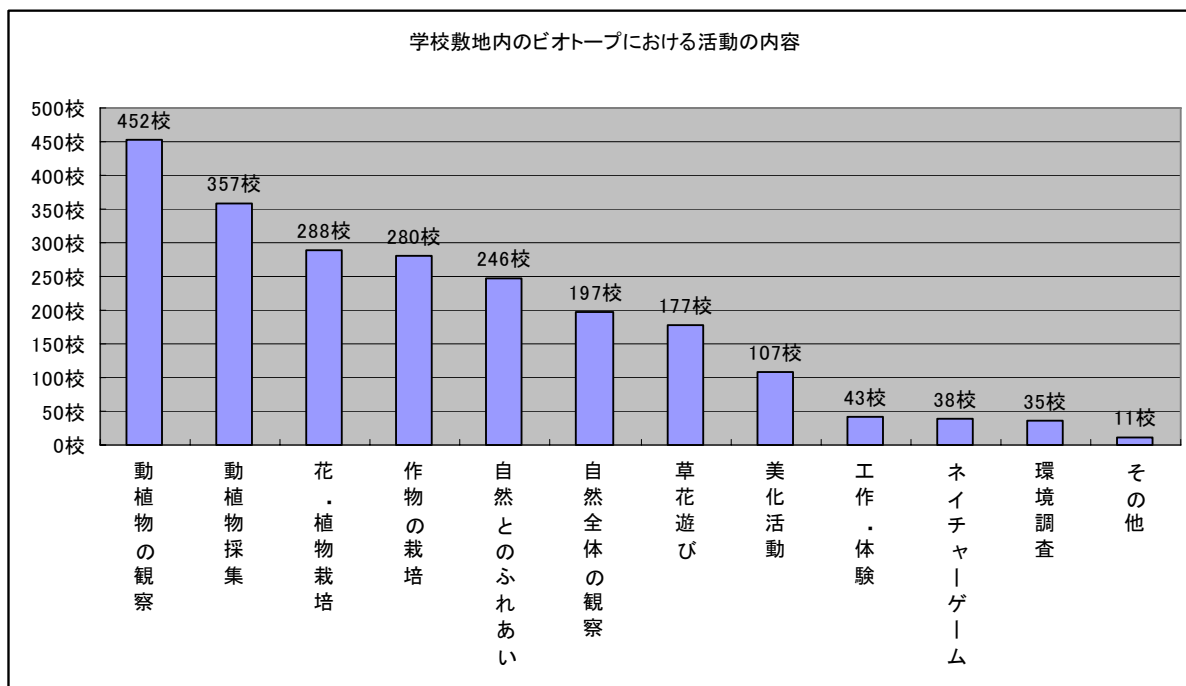
(4) 学校の敷地内のビオトープを整備した理由（複数回答 n=514）

区分	学校数	%
学習に活かすため	408	79.4
自然体験を増やすため	250	48.6
学校環境の整備	194	37.7
情操教育のため	146	28.4
豊かな自然を生かす	114	22.2
勤労生産活動のため	104	20.2
生きもののために配慮して	56	10.9
創立、卒業記念等で	17	3.3
その他	21	4.1



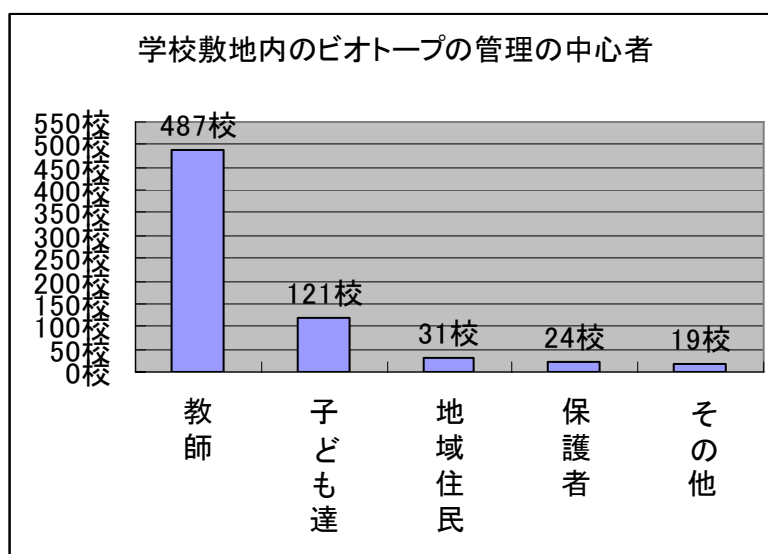
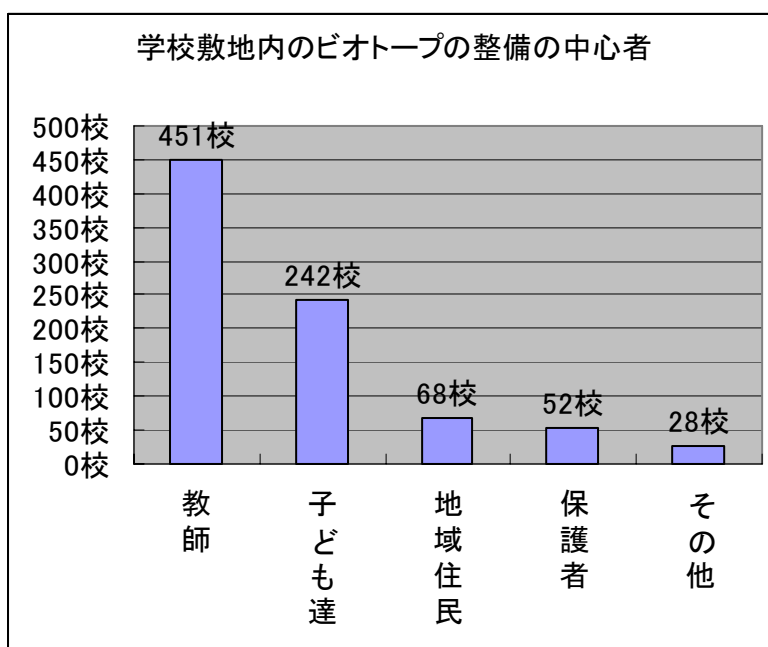
(5) 学校の敷地内におけるビオトープにおける活動の内容（複数回答 n=514）

区分	学校数	%
動植物の観察	452	87.9
動植物採集	357	69.5
花・植物栽培	288	56.0
作物の栽培	280	54.5
自然とのふれあい	246	47.9
自然全体の観察	197	38.3
草花遊び	177	34.4
美化活動	107	20.8
工作・体験	43	8.4
ネイチャーゲーム	38	7.4
環境調査	35	6.8
その他	11	2.1



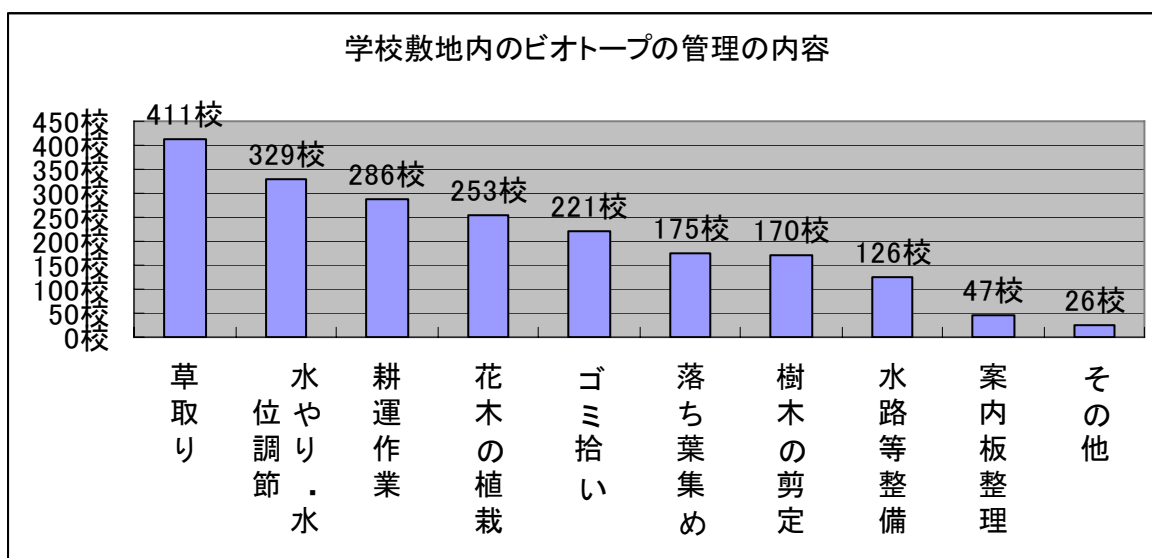
(6) 学校の敷地内のビオトープを整備、管理の中心に担う者（複数回答 n=514）

区分	整備の中心者		管理の中心者	
	学校数	%	学校数	%
教師	451	87.7	487	94.7
子ども達	242	47.1	121	23.5
地域住民	68	13.2	31	6.0
保護者	52	10.1	24	4.7
その他	28	5.4	19	3.7



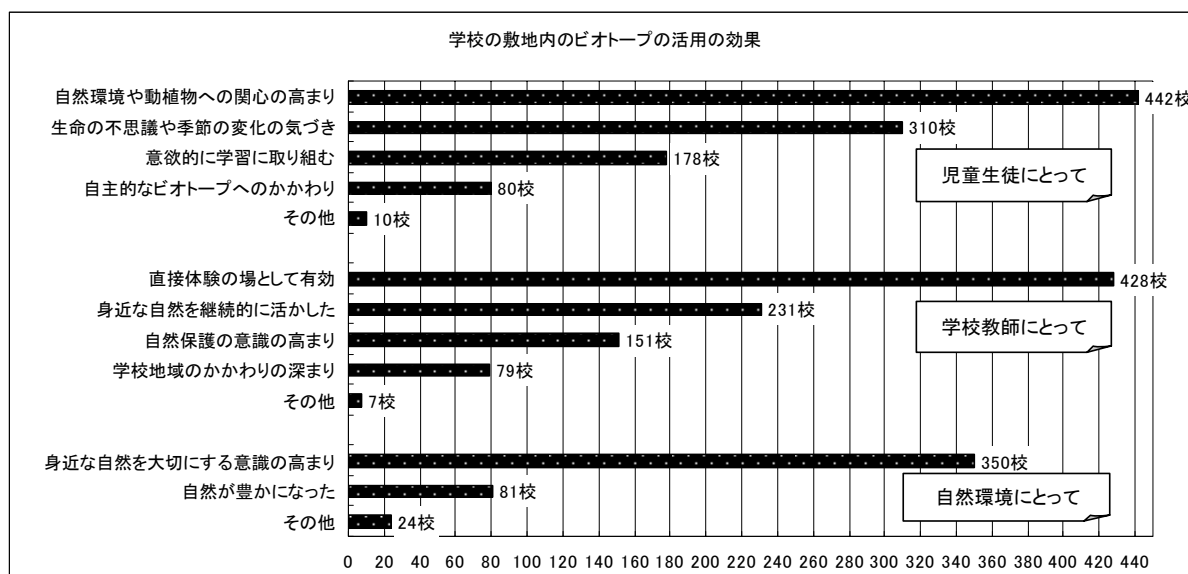
(6) 学校の敷地内のビオトープの管理の内容（複数回答 n=514）

区分	学校数	%
草取り	411	80.0
水やり・水位調節	329	64.0
耕運作業	286	55.6
花木の植栽	253	49.2
ゴミ拾い	221	43.0
落ち葉集め	175	34.0
樹木の剪定	170	33.1
水路等整備	126	24.5
案内板整理	47	9.1
その他	26	5.1



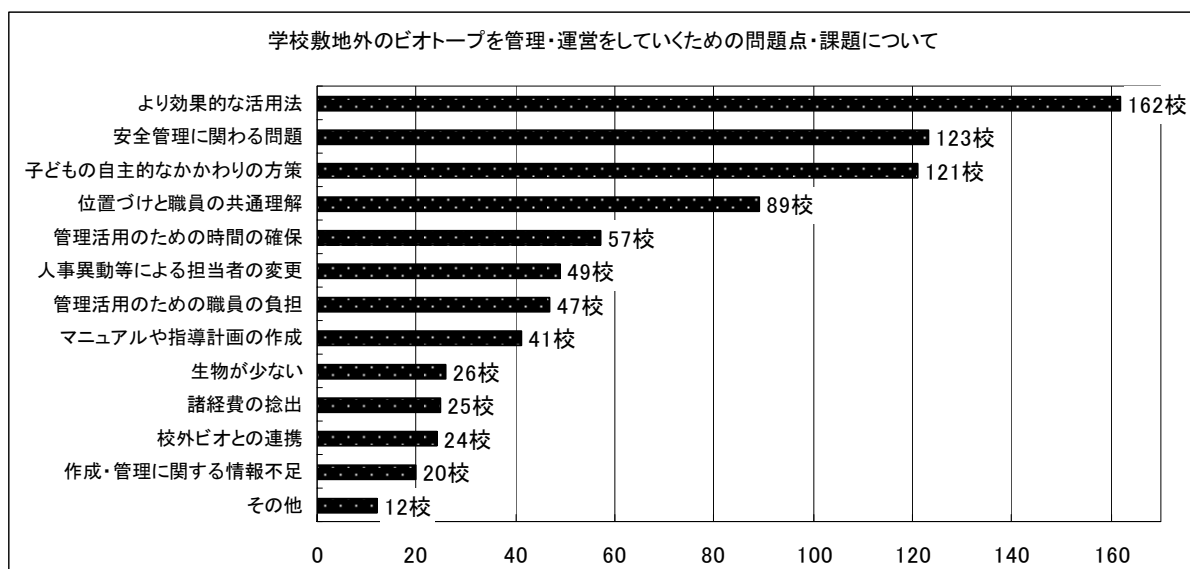
(7) 学校の敷地内のビオトープの活用の効果 (複数回答 n=514)

区分		学校数	%
児童生徒にとって	自然環境や動植物への関心の高まり	442	86.0
	生命の不思議や季節の変化の気づき	310	60.3
	意欲的に学習に取り組む	178	34.6
	自主的なビオトープへのかかわり	80	15.6
	その他	10	1.9
学校・教師にとって	直接体験の場として有効	428	83.3
	身近な自然を継続的に活かした	231	44.9
	自然保護の意識の高まり	151	29.4
	学校地域のかかわりの深まり	79	15.4
	その他	7	1.4
自然にとって	身近な自然を大切にすること意識の高まり	350	68.1
	休日等も自然と関わる	81	15.8
	その他	24	4.7



(8) 学校の敷地内のビオトープを管理・運営していく上での問題点（複数回答 n=514）

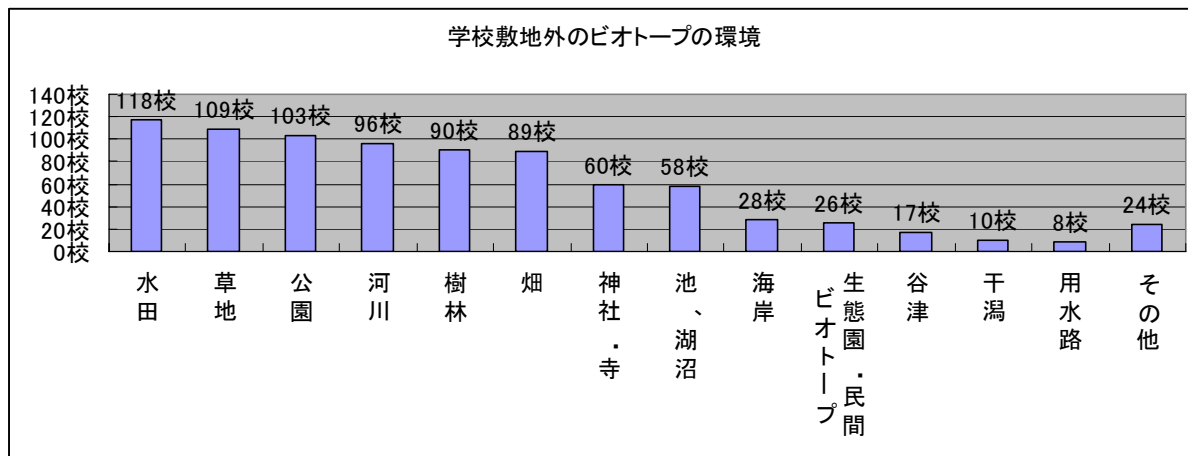
区分	学校数	%
より効果的な活用法の検討	276	53.7
管理活用のための時間の確保	182	35.4
位置づけと職員の共通理解	180	35.0
子どもの自主的なかかわりの方策	173	33.7
管理活用のための職員の負担	159	30.9
人事異動等による担当者の変更	130	25.3
生物が少ない	112	21.8
安全管理に関わる問題	67	13.0
マニュアルや指導計画の作成	59	11.5
作成・管理に関する情報不足	51	9.9
諸経費の捻出	45	8.8
校外ビオトープとの連携	23	4.5
保護者や地域の人材支援がない	5	1.0
その他	16	3.1



3 学校の敷地外のビオトープの活用等について

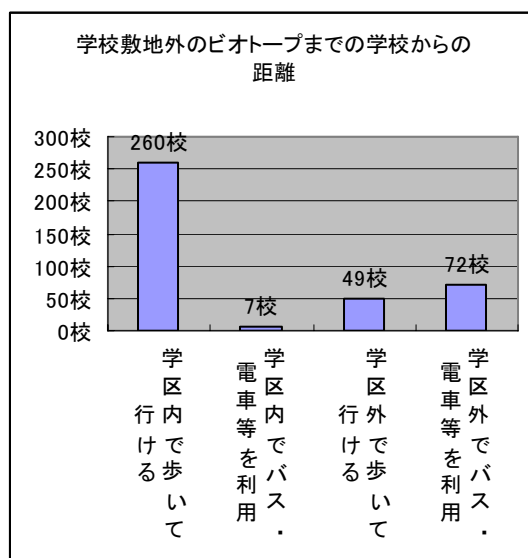
(1) 学校の敷地外におけるビオトープの環境（複数回答 n=337）

区分	水田	草地	公園	河川	樹林	畑	神社・寺	池・湖沼	海岸	生態園等	谷津	干潟	用水路	その他
学校数	118	109	103	96	90	89	60	58	28	26	17	10	8	24
%	35.0	32.3	30.6	28.5	26.7	26.4	17.8	17.2	8.3	7.7	5.0	3.0	2.4	7.1



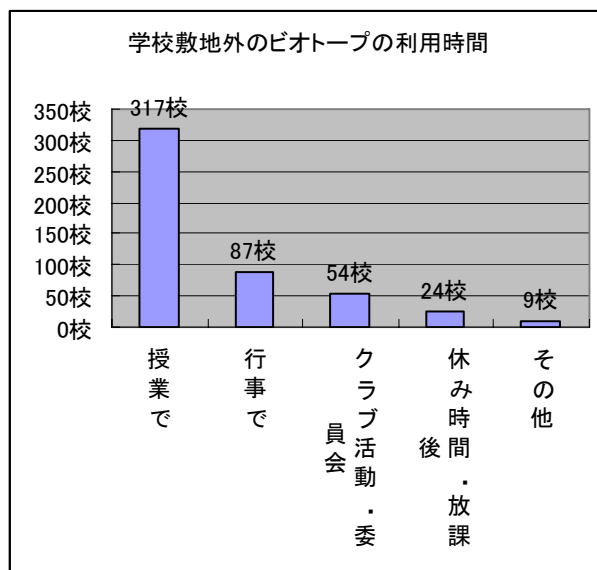
(2) 学校の敷地外のビオトープまでの学校からの距離（複数回答 n=337）

区分	学校数	%
学区内で歩いていける距離	260	77.2
学区内でバス・電車等を利用する距離	7	2.1
学区外で歩いていける距離	49	14.5
学区外でバス・電車等を利用する距離	72	21.4



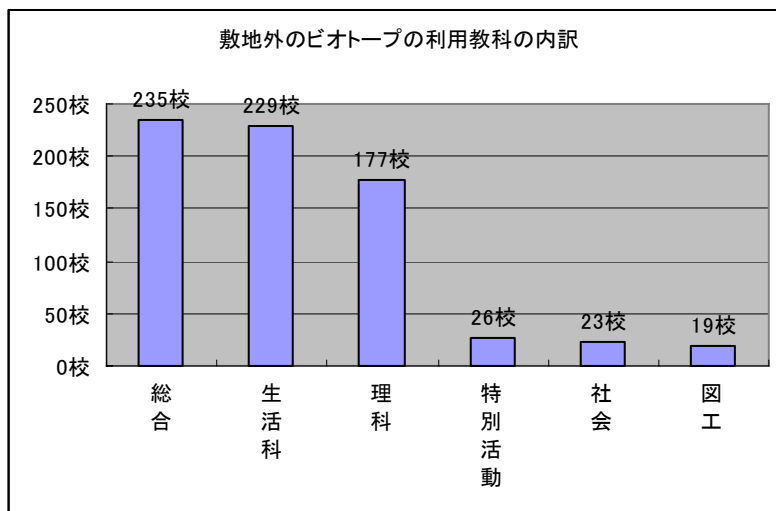
(3) 学校の敷地外のビオトープの利用時間 (複数回答 n=337)

区分	学校数	%
授業	317	94.1
行事	87	25.8
クラブ活動・委員会	54	16.0
休み時間・放課後	24	7.1
その他	9	2.7



(4) 学校の敷地外のビオトープの利用教科の内訳 (複数回答 n=317)

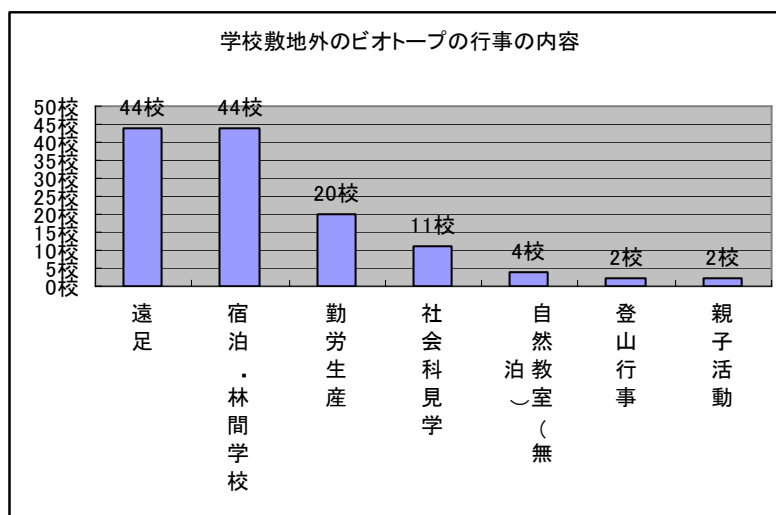
区分	学校数	%
総合学習	235	74.1
生活科	229	72.2
理科	177	55.8
特別活動	26	8.2
社会	23	7.3
図工	18	6.0



(5) 学校の敷地外のビオトープを行事で活用している場合の行事の内容

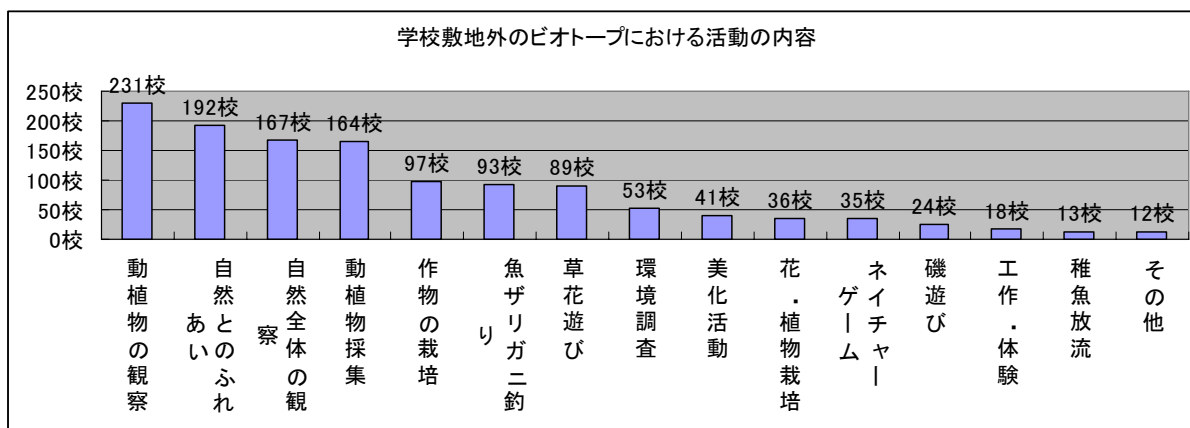
(複数回答 n=87)

区分	学校数	%
遠足	44	50.6
宿泊・林間学校	44	50.6
勤労生産	20	23.0
社会科見学	11	12.6
自然教室(無泊)	4	4.6
登山行事	2	2.3
親子活動	2	2.3



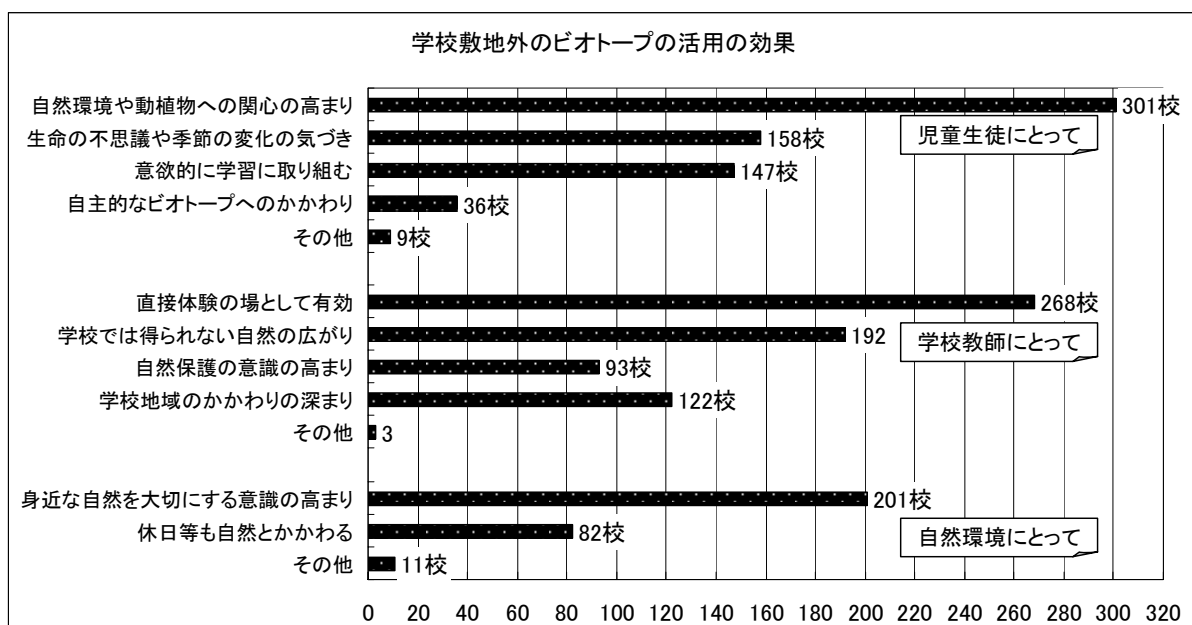
(6) 学校の敷地外におけるビオトープにおける活動の内容（複数回答 n=337）

区分	学校数	%
動植物の観察	231	68.5
自然とのふれあい	192	57.0
自然全体の観察	167	49.6
動植物採集	164	48.7
作物の栽培	97	28.8
魚ザリガニ釣り	93	27.6
草花遊び	89	26.4
環境調査	53	15.7
美化活動	41	12.2
花・植物栽培	36	10.7
ネイチャーゲーム	35	10.4
磯遊び	24	7.1
工作・体験	18	5.3
稚魚放流	13	3.9
その他	12	3.6



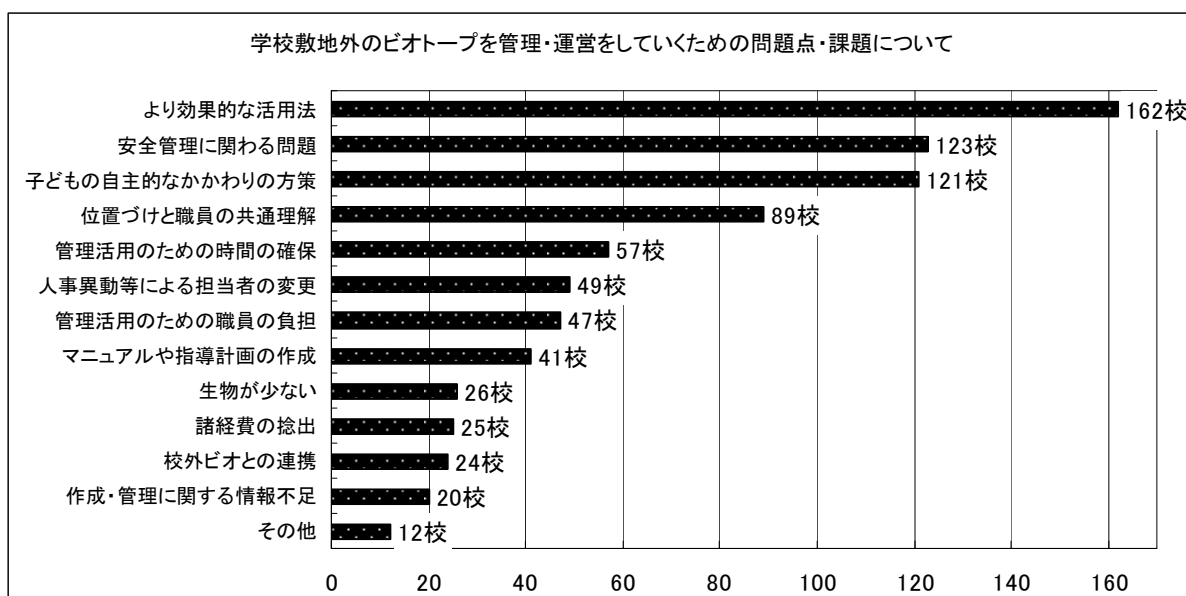
(7) 学校の敷地内のビオトープの活用の効果 (複数回答 n=337)

区分		学校数	%
児童生徒にとって	自然環境や動植物への関心の高まり	301	89.3
	生命の不思議や季節の変化の気づき	158	46.9
	意欲的に学習に取り組む	147	43.6
	自主的なビオトープへのかかわり	36	10.7
	その他	9	2.7
学校・教師にとって	直接体験の場として有効	268	79.5
	身近な自然を継続的に活かした	192	57.0
	自然保護の意識の高まり	93	27.6
	学校地域のかかわりの深まり	122	36.2
	その他	3	0.9
自然にとって	身近な自然を大切にできる意識の高まり	201	59.6
	自然が豊かになった	82	24.3
	その他	11	3.3



(8) 学校の敷地外のビオトープを管理・運営していく上での問題点（複数回答 n=337）

区分	学校数	%
より効果的な活用法	162	48.1
安全管理に関わる問題	123	36.5
子どもの自主的なかわりの方策	121	35.9
位置づけと職員の共通理解	89	26.4
管理活用のための時間の確保	57	16.9
人事異動等による担当者の変更	49	14.5
管理活用のための職員の負担	47	13.9
マニュアルや指導計画の作成	41	12.2
生物が少ない	26	7.7
諸経費の捻出	25	7.4
校外ビオとの連携	24	7.1
作成・管理に関する情報不足	20	5.9
その他	12	3.6



4 千葉県ビオトープ推進マニュアル・事例集の活用等について（小学校のみ n=476）

区分		学校数	%
ビオトープ推進マニュアルを知っている	活用している	65	13.7
	活用していない	167	35.1
ビオトープ推進マニュアルを知らない		244	51.3

